

平成28年度 行政評価事業別シート

<input checked="" type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	松下峻也	
全体計画			経費区分	—	内線	3414		
事務事業名	4165 畜産総合対策事業							
所 属	150100 産業振興部・農林課							
施 策	05012100 農業の活性化							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費						
	事業	010000 畜産総合対策事業						
事業目的	事業概要・効果							
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。	ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。							

PLAN-DO**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 予定
そのさと有機センター攪拌措置点検、袋詰設備及びロボットパレタイザー保守点検の実施	そのさと有機センター攪拌装置点検予定
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		3,104	4,168
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,104	4,168
人 員 数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,883.2	2,883.2
人 員 コス ト		0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,987.2	7,051.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	251	消耗品 165 修繕料 86
13節 委託費	357	機械設備保守点検 357
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,004	須高家畜防疫協議会負担金 259 北信食肉センター管理運営負担金 239 家畜診療所運営費負担金 1,506
その他	492	土地借上料494

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	消耗品 修繕料
13節 委託費	384	機械設備保守点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,288	家畜防疫協議会負担金 北信食肉センター負担金 家畜診療所運営費負担金
その他	1,496	土地借上料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	酪農家の継続支援が図れる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	酪農家の営農支援が図れている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	その里有機センターのJAへの譲渡について、今後も継続した協議の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

営農活動の支援が図れた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	2次評価	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント		
安定した営農のため、家畜伝染病の防止等の農家支援を継続する。また、JA合併に伴い、有機センターのあり方を見直す必要性も生じる。		畜産農家の衛生対策の向上を支援し、家畜伝染病の発生を防ぐ。指定管理であるそのさと有機センターは、良質の堆肥が製造できるよう支援を継続する。なお、指定管理者のJA須高が合併するため、指定管理者を変更する。		

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	